



2024年度（2025年3月期）
第1四半期決算説明会

2024年7月31日



本日お伝えしたいこと

2

- ◆ 2024年度第1四半期（連結）対前年同期は、原料費調整に伴う都市ガスの売上単価減等により、減収減益。

2024年度第1四半期

売上高 : 5,869億円（対前年同期 : ▲627億円）

当期純利益 : 199億円（対前年同期 : ▲577億円）

- ◆ 2024年度通期見通し（連結）は、営業利益ベースでは前回（24年4月）公表の見通しから据え置き。海外事業において、1Qで発現した北米シェールガス事業での販売ガス価格が低位で推移した影響を織り込む一方、全社大の継続的なコスト削減等により当初計画の利益規模を確保する見通し。

2024年度通期見通し

当期純利益 : 810億円（対前回 : +10億円、対前年度 : ▲889億円）



2024年度1Q実績（連結）売上高・利益等（2024.4.1－2024.6.30）

対前年同期実績

4

ポイント 減収減益

(+ / ▲は利益に対する影響を示す, 億円)

	対前年度 実績	
売上高	▲627	原料費調整に伴う単価減などによる「エネルギー・ソリューション」の売上高減 等
営業利益	▲680	フレーム影響に伴う単価差などによる「エネルギー・ソリューション」の利益減 等
特別損益	▲4	当期 20 : (特別利益) 受取損害賠償金 前期 24 : (特別利益) 投資有価証券売却益

(単位: 億円)

	2024年度1Q	2023年度1Q	増減	%	経済フレーム	2024年度1Q	2023年度1Q
都市ガス販売量 (百万m ³ 、45MJ)	2,428	2,466	▲38	▲1.5	為替レート (¥/\$)	155.86 (+18.37)	137.49
電力販売量 (百万kWh)	5,002	5,262	▲260	▲5.0	原油価格 (\$/bbl)	87.43 (+3.31)	84.12
売上高	5,869	6,496	▲627	▲9.7	平均気温 (℃)	20.0 (+0.5)	19.5
営業利益	249	929	▲680	▲73.2	回分平均気温 (℃)	17.8 (+0.1)	17.7
セグメント利益 (営業利益+持分法損益)	270	946	▲676	▲71.4			
経常利益 …①	270	1,072	▲802	▲74.8			
特別損益	20	24	▲4	▲20.0			
親会社株主に帰属する当期純利益	199	776	▲577	▲74.4			
気温影響 …②	▲40	▲44	4	—	年金	2024年度1Q	
スライド差 …③	104	497	▲393	—	運用利回り	0.30%	
補正項目 (都市ガス+LNG販売)	(95+9)	(433+64)	(▲338+▲55)	—	※コスト控除後		
年金数理差異償却額 …④	25	5	20	—	期末資産 (億円)	2,400	
補正経常利益 …①-②+③+④	181	614	▲433	▲70.5	<期待運用収益率: 2%>		

Copyright© TOKYO GAS Co., Ltd. All Rights Reserved.

TOKYO GAS

Copyright© TOKYO GAS Co., Ltd. All Rights Reserved. TOKYO GAS

第1四半期の業績は「減収減益」となりました。

売上高は、▲627億円減となりました。これは、「エネルギー・ソリューションセグメント」における、原料費調整に伴う単価減等が主な要因です。

営業利益は▲680億円減の249億円、経常利益は▲802億円減の270億円、親会社株主に帰属する当期純利益は、▲577億円減の199億円となりました。

2024年度1Q実績 セグメント別 売上高・利益					対前年同期実績		5	
(単位: 億円)								
	売上高 ※3				セグメント利益 (営業利益 + 持分法損益)			
	2024年度 1Q実績	2023年度 1Q実績	増減	%	2024年度 1Q実績	2023年度 1Q実績	増減	%
エネルギー・ソリューション ※1 (持分法損益含む)	5,203	5,919	▲716	▲12.1	253	820	▲567	▲69.1
ガス ※2	3,841	4,310	▲469	▲10.9	182	666	▲484	▲72.6
電力	1,235	1,428	▲193	▲13.5	23	112	▲89	▲79.2
ネットワーク	791	762	29	3.8	11	▲8	19	—
海外	417	315	102	32.4	31	122	▲91	▲74.6
(持分法損益)	—	—	—	—	15	7	8	108.6
都市ビジネス (持分法損益含む)	153	188	▲35	▲18.3	38	69	▲31	▲44.1
調整額 ※4	▲696	▲689	▲7	—	▲64	▲58	▲6	—
セグメント合計額	5,869	6,496	▲627	▲9.7	270	946	▲676	▲71.4
(持分法損益)	—	—	—	—	21	16	5	30.3

※1 「都市ガス」「LNG販売」「トレーディング」「電力」「IDG「フジガ」明い」等を含みます。

※2 「都市ガス」「LNG販売」「トレーディング」を含みます。

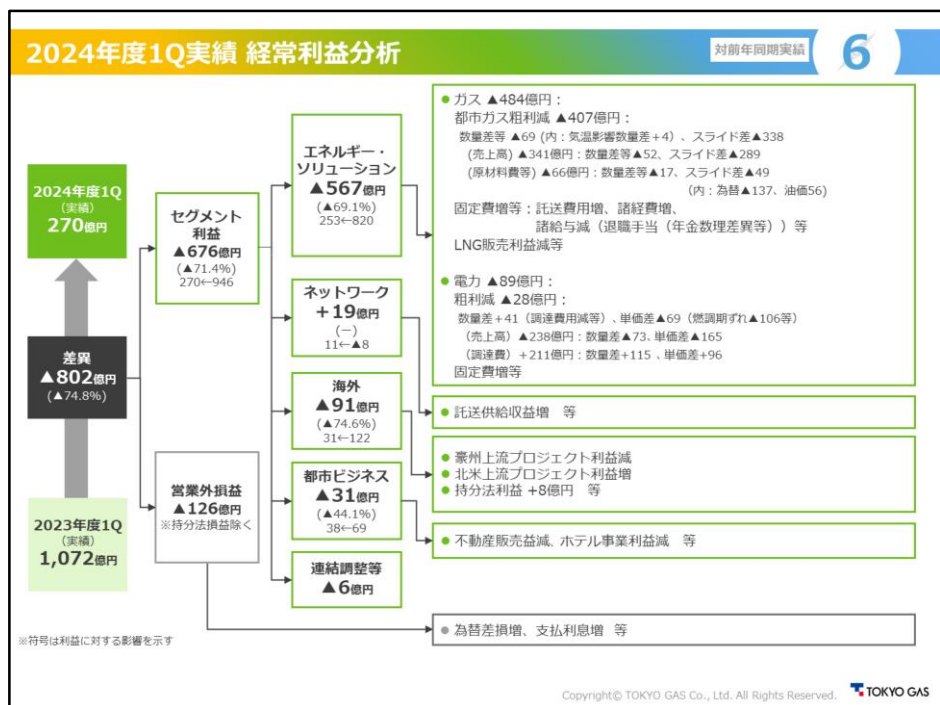
※3 セグメント別の売上高には事業間の内部取引を含みます。

※4 セグメント利益の「調整額」の主なものは、各セグメントに配分していない全社費用です。

Copyright© TOKYO GAS Co., Ltd. All Rights Reserved.



セグメント別の売上高、および営業利益に持分法損益を加えたセグメント利益とその増減を記載しております。

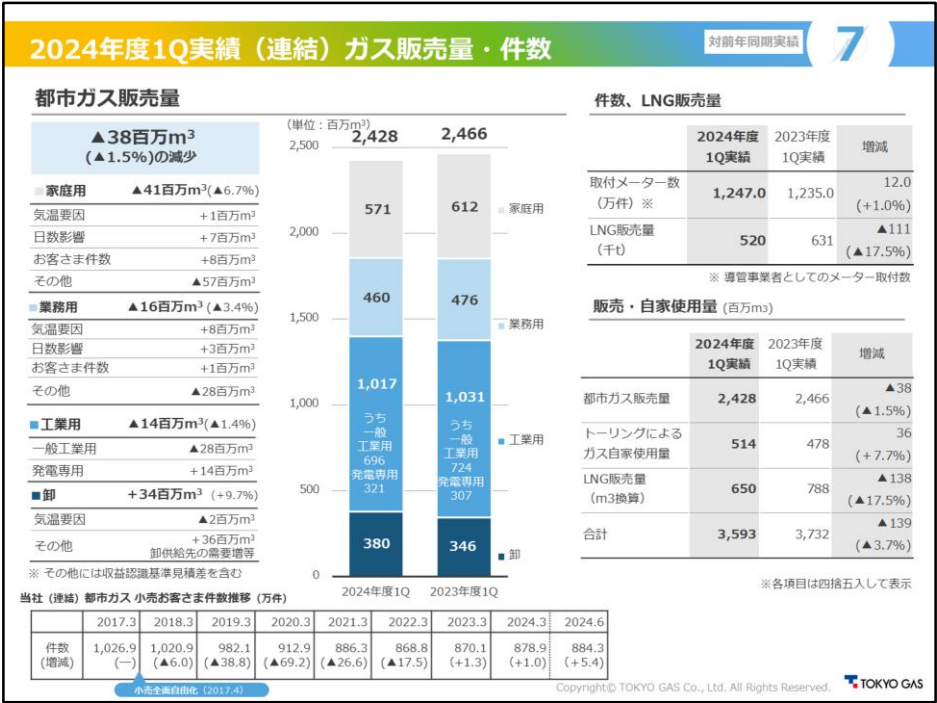


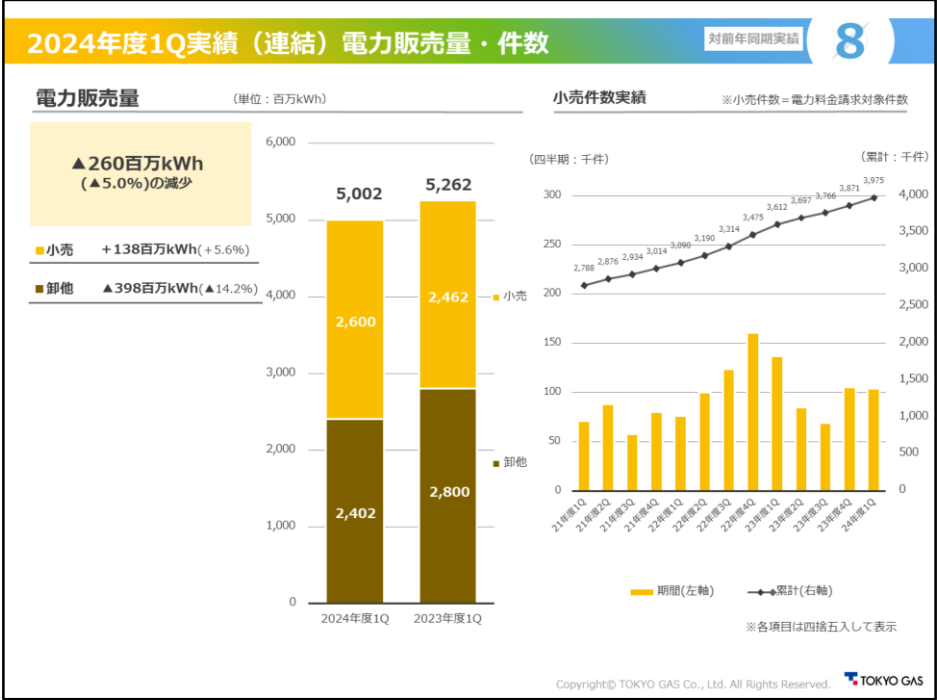
エネルギー・ソリューションセグメントにおける▲567億円の減益は、都市ガスのスライド差等による粗利減、▲407億円が主な要因です。また、電力事業においても、単価減に伴う粗利減、固定費の増等により、▲89億円減益となりました。

ネットワークセグメントは、主に託送供給収益の増により、+19億円の増益となりました。

海外セグメントは、北米シェールガス事業において、2023年度に行った資産取得に伴い生産量が増加したことによる利益増があるものの、2023年度末に豪州上流の4プロジェクトの売却を完了したことに伴う利益減により、▲91億円の減益となりました。

都市ビジネスセグメントは、不動産販売利益の減や、ホテル事業において、ホテルリノベーションのための休業を開始したことに伴う利益減があり、▲31億円の減益となりました。





第1四半期の電力販売量は、全体では▲5.0%減となりました。
小売においては、契約件数の増加による需要増等により+5.6%増、
卸ほかについては、▲14.2%減少しています。



02

2024年度通期見通し

※2024年度より、当社の子会社であるTOKYO GAS UNITED KINGDOM LTD.をエネルギー・ソリューションセグメントから海外セグメントに含める組織変更を実施したことに伴い、2024年度及び2023年度のセグメント情報（2023年度資産額及びROAを除く）は、変更後のセグメント区分に基づき作成したものを開示しています。

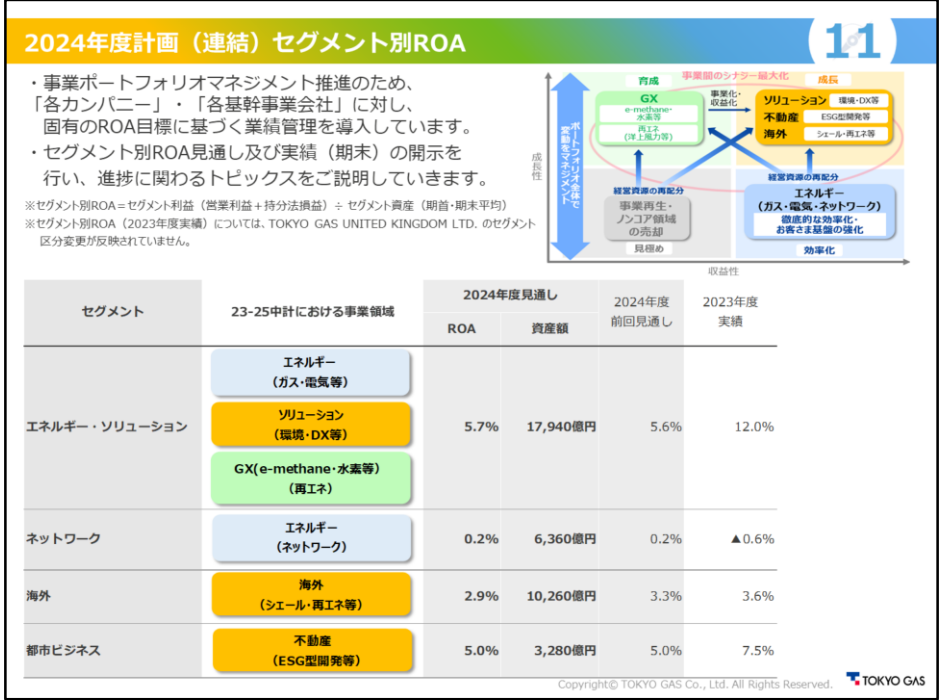
Copyright© TOKYO GAS Co., Ltd. All Rights Reserved. 

2023年-2025年度中期経営（連結） 主要計数・投資計画				(10)
	23-25年度 中計	2024年度 見直し	2023年度 実績	備考
セグメント利益	1,500億円	1,208億円	2,233億円	
ROA	4%程度	2.1%	4.5%	純利益/総資産（期首・期末平均）
ROE	8%程度	4.8%	10.4%	純利益/自己資本（期首・期末平均）
D/Eレシオ		0.82	0.85	
ハイブリッド社債・ハイブリッドローン考慮後※	0.9程度	0.78	0.81	
営業キャッシュ・フロー	1.1兆円 (2023-2025年度)	3,370億円	3,822億円	純利益 + 減価償却（長期前払費用償却含む）
投資	成長投資	6,500億円	2,687億円	
	内脱炭素関連	2,300億円 (2023-2025年度)	401億円	
	基礎投資	3,500億円 (2023-2025年度)	1,286億円	
	連結調整等	—	▲69億円	
	計	1兆円 (2023-2025年度)	3,905億円	4,804億円 回収含まず

※ 発行済みハイブリッド社債およびハイブリッドローンの資本性50%を調整

Copyright© TOKYO GAS Co., Ltd. All Rights Reserved. TOKYO GAS

2023から2025年度の中期経営計画における主要計数・投資計画等の状況をお示ししています。



2024年度のセグメント別ROAの見通しについて、
 前回見通しおよび2023年度実績との比較でお示ししております。

2024年見通し（連結）売上高・利益等（2024.4.1－2025.3.31）

対前回見通し

12

ポイント 減収増益(対前回見通し)

(+ /▲は利益に対する影響を示す, 億円)

	対前回見通し	
売上高	▲40	北米上流プロジェクト売上減による「海外」の売上高減
営業利益	±0	ー
特別損益	+20	今回 20 : (特別利益) 受取損害賠償金 20 前回 0

(単位: 億円)

	見通し	前回見通し	増減	%	前年度実績	増減	%	経済フレーム	見通し	前回見通し	前年度実績
都市ガス販売量 (百万m ³ 、4SPd)	11,422	11,422	0	ー	11,303	119	1.1	為替レート (¥/\$)	145.00	145.00	144.58
電力販売量 (百万kWh)	24,060	24,060	0	ー	25,479	▲1,419	▲5.6				
売上高	26,380	26,420	▲40	▲0.2	26,645	▲265	▲1.0	原油価格 (\$/bbl)	80.00	80.00	85.97
営業利益	1,130	1,130	0	ー	2,203	▲1,073	▲48.7				
セグメント利益 (営業利益 + 持分法損益)	1,208	1,208	0	ー	2,233	▲1,025	▲45.9	平均気温 (℃)	16.4	16.4	17.5
経常利益 …①	1,110	1,110	0	ー	2,281	▲1,171	▲51.4				
特別損益	20	0	20	ー	239	▲219	▲91.6				
親会社株主に帰属する当期純利益	810	800	10	1.3	1,699	▲889	▲52.3	年金	2023年度	2022年度	2021年度
気運影響 …②	0	0	0	ー	▲141	141	ー				
スライド差 …③	94	94	0	ー	755	▲661	ー	運用利回り	2.21%	▲1.90%	0.37%
補正項目 (都市ガス+LNG販売)	(67+27)	(67+27)	0	ー	(615+140)	(▲548+▲113)	ー	※コスト控除後			
年金数値差異調整額 …④	103	103	0	ー	23	80	ー	割引率	1.15%	0.81%	0.48%
補正経常利益 …①-②+③+④	913	913	0	ー	1,644	▲731	▲44.5	期末資産 (億円)	2,400	2,430	2,560

<期待運用収益率: 2%>

Copyright© TOKYO GAS Co., Ltd. All Rights Reserved.

TOKYO GAS

Copyright© TOKYO GAS Co., Ltd. All Rights Reserved. TOKYO GAS

2024年度通期につきましては、当期純利益ベースで「減収増益」と見通しております。見通しの前提となる7月以降の経済フレームについて、為替レートは、前回見通し同様の1ドル145円、原油価格についても前回見通し同様の1バレル80ドルと見通しております。

売上高は▲40億円減と見通しております。これは、「海外」セグメントにおける、北米上流プロジェクトの販売単価減による売上減が主な要因です。

一方、営業利益は、「エネルギー・ソリューション」セグメントおよび全社大での費用減等を見込み、前回見通し通りの1,130億円と据え置きます。

経常利益は前回見通し通りの1,110億円、第一四半期に計上した特別利益20億円を加えた親会社株主に帰属する当期純利益は、+10億円増の810億円と見通しております。

2024年度見通し セグメント別利益（営業利益＋持分法損益）

13

(単位: 億円)

	売上高 ※3				セグメント利益（営業利益＋持分法損益）			
	見通し	前回 見通し	増減	%	見通し	前回 見通し	増減	%
エネルギー・ソリューション ※1 (持分法損益含む)	23,159	23,159	0	—	993	978	15	1.5
ガス ※2	16,352	16,352	0	—	675	675	0	—
電力	6,054	6,054	0	—	135	135	0	—
ネットワーク	3,368	3,368	0	—	12	12	0	—
海外	1,827	1,867	▲40	▲2.1	309	349	▲40	▲11.5
(持分法損益)	—	—	—	—	61	61	0	—
都市ビジネス (持分法損益含む)	721	721	0	—	159	159	0	—
調整額 ※4	▲2,695	▲2,695	0	—	▲265	▲290	25	—
セグメント合計額	26,380	26,420	▲40	▲0.2	1,208	1,208	0	—
(持分法損益)	—	—	—	—	78	78	0	—

※1 「都市ガス」「LNG販売」「トレーディング」「電力」「エネルギーソリューション」等を含みます。

※2 「都市ガス」「LNG販売」「トレーディング」を含みます。

※3 セグメント別の売上高には事業間の内部取引を含みます。

※4 セグメント利益の「調整額」の主なものは、各セグメントに配分していない全社費用です。

Copyright© TOKYO GAS Co., Ltd. All Rights Reserved. TOKYO GAS

セグメント別の売上高および利益の見通しと、前回見通しに対する増減を記載しております。

セグメント利益の合計額は前回見通し通りとしております。

セグメントごとの利益の見通しについて、次のページ以降でご説明いたします。各セグメントのページには、セグメント別の設備投資・投融資の計画や期間中のトピックスなどもあわせてお示ししております。

セグメント別情報 エネルギーソリューション

14

業績サマリー

(単位: 億円)

	2024年度見通し	前回見通し	増減	%	前年度実績	増減	%
売上高	23,159	23,159	0	—	24,228	▲1,069	▲4.4
ガス	16,352	16,352	0	—	17,014	▲662	▲3.9
電力	6,054	6,054	0	—	6,327	▲273	▲4.3
セグメント利益 (営業利益+持分法損益)	993	978	15	1.5	2,011	▲1,018	▲50.6
ガス	675	675	0	—	1,472	▲797	▲54.1
電力	135	135	0	—	355	▲220	▲62.1

【対前回】増減要因 (セグメント利益 +15億円)

- 都市ガス粗利 ±0億円
- 電力粗利 ±0億円
- その他固定費減 等



【対前年】増減要因 (セグメント利益 ▲1,018億円)

- ガス ▲797億円:
都市ガス粗利減 ▲454億円:
数量差等+94 (内: 気温影響数量差+141)、スライド差▲548
(売上高) ▲537億円: 数量差等+193、スライド差▲730
(原材料費等) +82億円: 数量差等▲100、
スライド差+182 (内: 為替▲50、油価+342)
固定費増等: 託送費用増、諸経費増、
諸給与減 (退職手当 (年金数理差異等))
LNG販売利益減
- 電力 ▲220億円:
粗利増+63億円:
数量差+297 (調達費用減等)
単価差▲234 (販売単価減、燃調期ずれ▲156 等)
(売上高) ▲789億円: 数量差▲293、単価差▲496
(調達費) +852億円: 数量差+590、単価差+263
固定費増等

Copyright© TOKYO GAS Co., Ltd. All Rights Reserved. TOKYO GAS

エネルギー・ソリューションセグメントは+15億円の増益を見通しています。都市ガス粗利・電力粗利等については見通しを据え置くものの、セグメント全体でコスト削減を織り込むものです。

セグメント別情報 エネルギーソリューション

15

業績サマリー

(単位: 億円)

	2024年度見通し	前回見通し	増減	%	前年度実績	増減	%
セグメント資産	17,940	17,940	0	—	17,083	857	5.0
ROA (%)	5.7	5.6	0.1	—	12.0	▲6.3	—
減価償却費	766※	766※	0※	—	699	67	9.5
合計	1,113	1,113	0	—	688	425	61.7
※内、成長投資	695	695	0	—	487	208	42.7
設備投資							
ガス	434	434	0	—	241	193	80.2
電力	264	264	0	—	200	64	31.6
合計 (成長投資)	470	512	▲42	▲8.2	496	▲26	▲5.5
投資 (回収含まず)							
ガス	—	—	—	—	—	—	—
電力	231	250	▲19	▲7.7	483	▲252	▲52.1

※長期前払費用償却を含む

2024年度のポイント・トピックス

- ソリューションブランド「IGNITURE」の展開によるソリューション売上の拡大
- AO&Tの推進・高度化によるトレーディング事業の拡大
- 新たなカスタマーサービスシステム「クラーケン」の導入による業務見直し・標準化を通じた顧客体験の向上

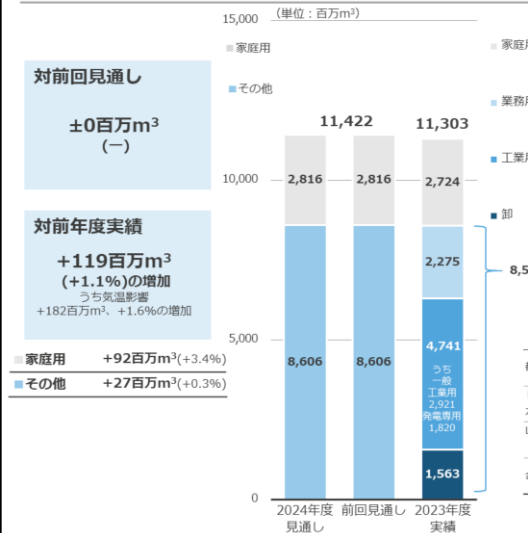
2024年度1Qの主なプレスリリース

- レノバとの資本業務提携契約の締結と第三者割当増資の引き受けについて
- 家庭用蓄電池の充放電を制御する「IGNITURE蓄電池」を提供開始
- 系統用蓄電池事業への本格参入について

2024年度見通し（連結）ガス販売量・件数

16

都市ガス販売量



件数、LNG販売量

	2024年度見通し	前回見通し	増減	前年度実績	増減
取付メーター数 (万件) ※	1,259.6	1,259.6	0.0 (ー)	1,245.1	14.5 (+1.2%)
工業用 LNG販売量 (千t)	1,898	1,898	0 (ー)	1,991	▲93 (▲4.7%)

※ 導管事業者としてのメーター取付数

販売・自家使用量 (百万m³)

	2024年度見通し	前回見通し	増減	前年度実績	増減
都市ガス販売量	11,422	11,422	0 (ー)	11,303	119 (+1.1%)
トーリングによるガス自家使用量	2,952	2,952	0 (ー)	2,468	484 (+19.6%)
LNG販売量 (m3換算)	2,372	2,372	0 (ー)	2,488	▲116 (▲4.7%)
合計	16,747	16,747	0 (ー)	16,259	488 (+3.0%)

※各項目は四捨五入して表示

Copyright© TOKYO GAS Co., Ltd. All Rights Reserved. TOKYO GAS

エネルギー・ソリューションセグメントの見通しの前提となる、ガス販売量および電力販売量の見通しについて、お示ししております。ガス販売量は、前回見通し通りとしております。

2024年度見通し（連結）電力販売量

17

電力販売量

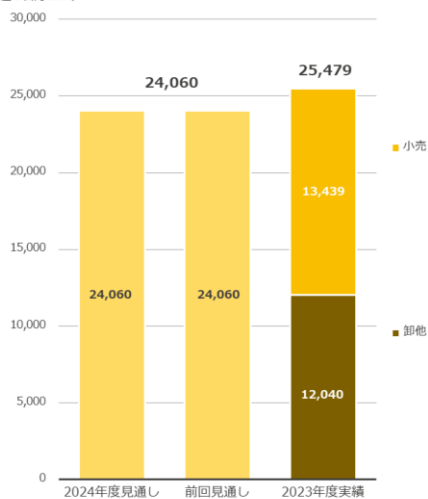
（単位：百万kWh）

対前回見通し

±0百万kWh
(-)

対前年度実績

▲1,419百万kWh
(▲5.6%)の減少



※各項目は四捨五入して表示

Copyright© TOKYO GAS Co., Ltd. All Rights Reserved. TOKYO GAS

電力販売量は、前回見通し通りとしております。

業績サマリー

(単位: 億円)

	2024年度見通し	前回見通し	増減	%	前年度実績	増減	%
売上高	3,368	3,368	0	—	3,264	104	3.2
セグメント利益 (営業利益+持分法損益)	12	12	0	—	▲39	51	—
セグメント資産	6,360	6,360	0	—	6,488	▲128	▲2.0
ROA (%)	0.2	0.2	0	—	▲0.6	0.8	—
減価償却費	991※	991※	0※	—	993	▲2	▲0.2
設備投資(基盤投資)	867	867	0	—	807	60	7.5

※長期前払費用償却を含む

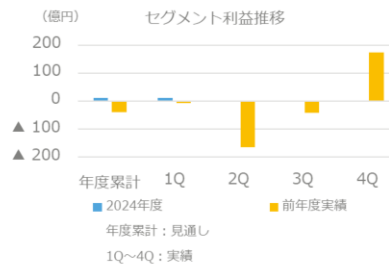
【対前回】増減なし(セグメント利益 ±0億円)

【対前年】増減要因(セグメント利益 +51億円)

- 託送供給収益増 等

2024年度のポイント・トピックス

- 営業と保安の連携強化による都市ガス顧客基盤の拡大および都市ガス周辺事業の確立
- 都市ガススマートメーターの供給エリア全域導入開始による保安・レジリエンスの更なる強化と新たな価値・サービスの創出



Copyright© TOKYO GAS Co., Ltd. All Rights Reserved. TOKYO GAS

ネットワークセグメントのセグメント利益は、前回見通し通りとしております。

業績サマリー

	2024年度見通し	前回見通し	増減	%	前年度実績	増減	%
売上高	1,827	1,867	▲40	▲2.1	1,201	626	52.0
セグメント利益 (営業利益+持分法損益)	309	349	▲40	▲11.5	304	5	1.4
セグメント資産	10,260	10,260	0	—	11,041	▲781	▲7.1
ROA (%)	2.9	3.3	▲0.4	—	3.6	▲0.7	—
減価償却費	728※	728※	0※	—	289	439	151.7
設備投資 (成長投資)	1,023	1,023	0	—	403	620	153.8
投融资 (成長投資)	88	80	8	11.7	2,218	▲2,130	▲96.0

※長期前払費用償却を含む

【対前回見通し】増減要因 (セグメント利益 ▲40億円)

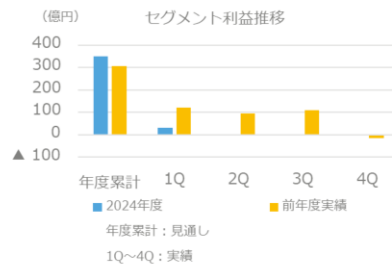
- 北米上流プロジェクト利益減 等

【対前年度実績】増減要因 (セグメント利益 +5億円)

- 豪州上流プロジェクト利益減
- 北米上流プロジェクト利益増 等
- 持分法損益 +51億円

2024年度のポイント・トピックス

- 米国シェールガス事業の収益拡大
- 米国シェールガス事業、再エネ事業、蓄電池事業の連携・最適活用によるマーケティング&トレーディング事業の確立



海外セグメントは、第一四半期（海外事業においては2024年1月から3月の期間）は、ガス価格が低位に推移したことに伴う北米シェールガス事業の売上減等を織り込み、セグメント利益は、対前回▲40億円の減と見通しております。

業績サマリー

	2024年度見通し	前回見通し	増減	%	前年度実績	増減	%
売上高	721	721	0	—	911	▲190	▲20.9
セグメント利益 (営業利益+持分法損益)	159	159	0	—	229	▲70	▲30.7
セグメント資産	3,280	3,280	0	—	3,036	244	8.0
ROA (%)	5.0	5.0	0	—	7.5	▲2.5	—
減価償却費	129※	129※	0※	—	114	15	12.8
設備投資(成長投資)	354	354	0	—	158	196	123.8
投融資(成長投資)	56	23	33	139.5	34	22	65.2

※長期前払費用償却を含む

【対前回】増減なし(セグメント利益 ±0億円)

【対前年度実績】増減要因(セグメント利益 ▲70億円)

- ホテル事業利益減
- 不動産収入減 等

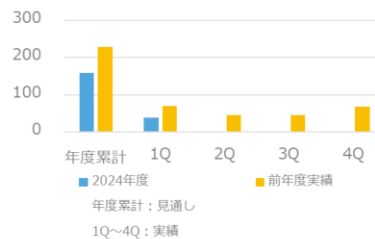
2024年度のポイント・トピックス

- 私募REITの運用拡大等による資産効率の向上、仕入れから売却に関わる一連のプロセスへの関与による収益拡大
- パークタワーホテルはリノベーションのため一時休業予定
- 収支管理高度化による長期保有型事業の収益向上

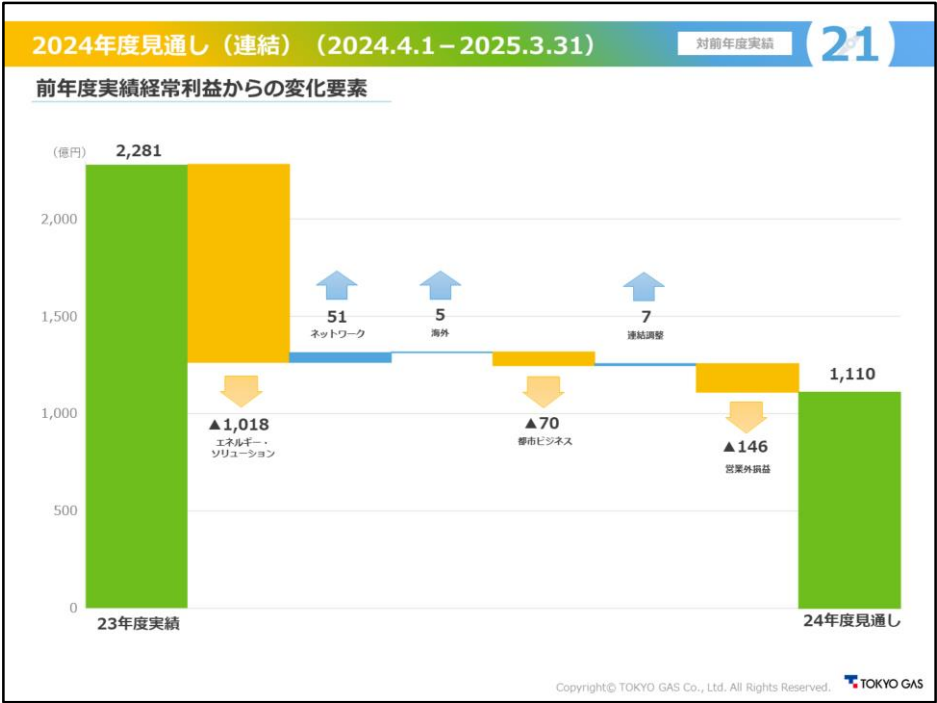
2024年度1Qの主なプレスリリース

- 西蔵州でのESG型不動産開発事業「スピアコ開発」に参画

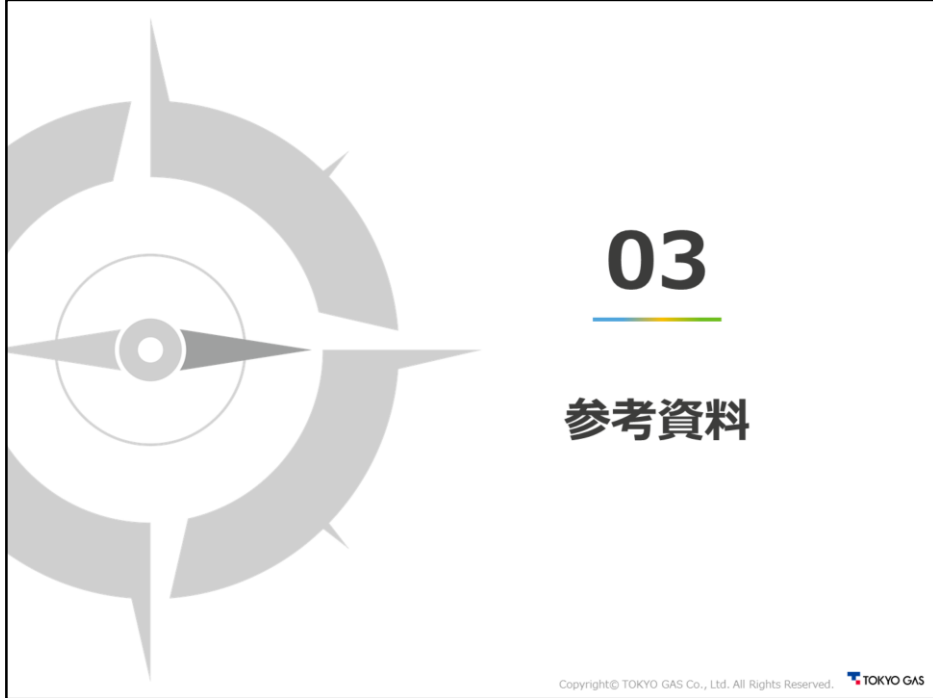
セグメント利益推移



都市ビジネスセグメントのセグメント利益は、前回見通し通りとしております。



前年度からの主な変化要素ごとの利益増減を図でお示ししております。



参考資料として、経済フレーム感度表に加え、原油価格・為替レート、主な海外投資案件等を掲載しております。

「資本コストや株価を意識した経営の実現に向けて」の取り組みの進捗状況についても、継続してこちらに掲載しております。

原油価格JCCが\$1/bbl上昇する場合

（単位：億円）

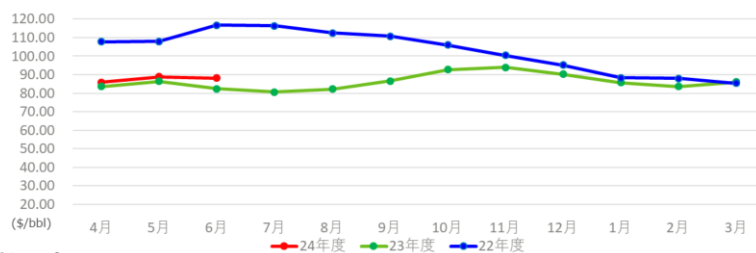
		収支影響時期			
		第2四半期	第3四半期	第4四半期	年度計
変動時期	第2四半期	▲1	▲9	+6	▲4
	第3四半期	—	▲2	▲9	▲11
	第4四半期	—	—	▲2	▲2
	通期	▲1	▲11	▲5	▲17

円ドルレートが¥1/\$円安になる場合

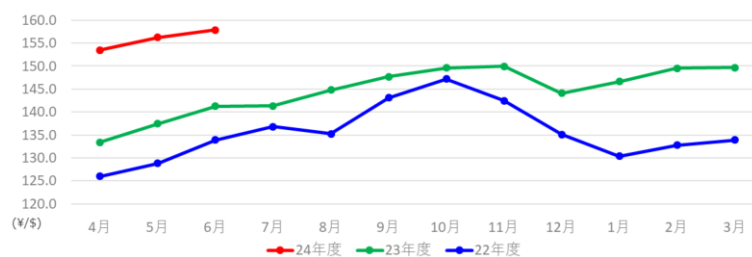
（単位：億円）

		収支影響時期			
		第2四半期	第3四半期	第4四半期	年度計
変動時期	第2四半期	▲5	+5	+3	+3
	第3四半期	—	▲7	+7	0
	第4四半期	—	—	▲10	▲10
	通期	▲5	▲2	0	▲7

原油価格 (JCC)



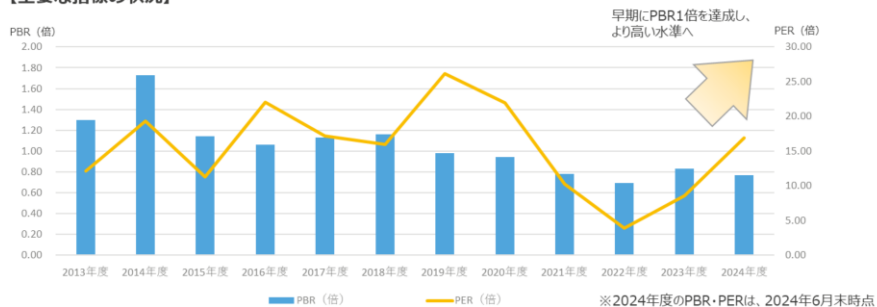
為替レート



Copyright© TOKYO GAS Co., Ltd. All Rights Reserved.



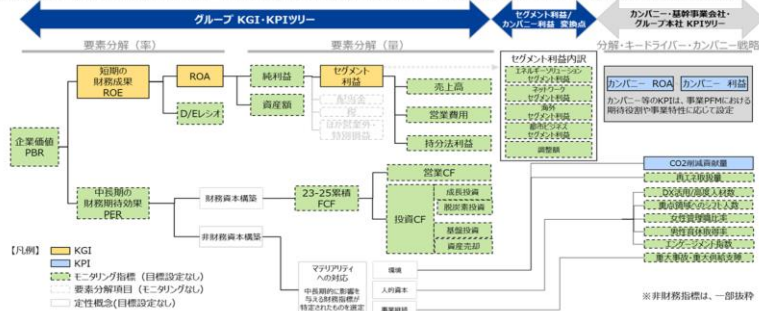
【主要な指標の状況】



2024年度期末時点	今回 見通し	前回 見通し
ROA	2.1%	2.1%
ROE	4.8%	4.7%

(1) 事業ポートフォリオマネジメントの推進

- 2024年度より、グループKGI/KPIを達成するため、KPIツリーによる経営管理を導入。各カンパニー・基幹事業会社等がそれぞれの資本コスト、期待役割に応じたカンパニーROA達成に向け、各々改善ドライバーを設定し取り組む
- 2025年度における中計KGI (ROA/ROE) を必達とし、これに向けては、収益性の改善に加えB/Sのさらなる効率化が不可欠と認識。短期的な取り組みとして、資本コストに照らし、非効率資産売却(政策保有株売却加速※含む)および資金回収早期化に資する実行策等をリストアップし経営レベルで議論
※2020年度からの4年間で15銘柄、計260億円の上場株式を売却。今後も資本効率向上の観点から縮減を加速。



(2) 資本コストの低減

- 豪州売却や資産効率化により創出したキャッシュを原資として、資本コストを踏まえた最適アロケーションを検討。財務健全性と資本効率の両立を目指した「DEレシオ0.9」を財務規律としながら、適切に自己資本をコントロールする
- 株主還元：自社株取得の進捗 (2024年6月30日現在)
取得した株式の総数 4,585,600株 (17百万株 (上限とする。発行済み株式総数の4.2%))
株式の取得価格の総額 15,992,598,800円 (総額40,000百万円 (上限とする))



地域	番号	国名	案件名称	投資分野／投資内容	参加年
北米	①	米国	イーグルフォード	上流 シェールガス	2016
			TG・ナチュラリソース	上流 シェールガス	2017
			T G E Sアメリカ	中下流 エネルギーサービス	2015
			バースボロ	中下流 天然ガス発電	2017
			アクティナ	中下流 太陽光発電	2020
			ロングボウ	中下流 系統用蓄電池事業	2024
	②	メキシコ	アーム・エナジー・ホールディングス	中下流 マーケティング・トレーディング事業	2024
			バセオ	中下流 天然ガス発電	2004
東南アジア	③	マレーシア	ガスマレーシア	下流 ガス配給	1992
			ガスマレーシアエネルギーアドバンス	中下流 エネルギーサービス	2014
	④	タイ	バンホー	中下流 天然ガス発電	2016
			カルフ・ダブルエイチエー・エムディー	中下流 ガス配給	2018
	⑤	ベトナム	ワン・バンコク	中下流 地域冷房・配電事業	2020
			ベトロベトナムガス販売	中下流 ガス配給	2017
	⑥	インドネシア	バンジ・ラヤ・アラミンド	中下流 ガス配給	2017
			スーパー・エナジー	中下流 ガス配給	2020
	⑦	フィリピン	ファーストジェンLNG	下流 LNG基地建設、運営、メンテナンス	2020
オセアニア	⑧	オーストラリア	ダーウィン	上流 天然ガス生産・液化・販売	2003
欧州	⑨	デンマーク	トービー・リニューアブルズ	中下流 陸上風力発電	2022



<見通しに関する注意事項>

このプレゼンテーションに掲載されている東京ガスの現在の計画、見通し、戦略、その他の歴史的事実でないものは、将来の業績に関する見通しであり、これらは現在入手可能な情報から得られた東京ガスの経営者の判断に基づいております。

実際の業績は、さまざまな要素により、これら業績見通しとは大きく異なる結果となりうることをご承知おき下さい。実際の業績に影響を与えうる重要な要素には、日本経済の動向、原油価格の動向、気温の変動、円ドルの為替レート変動、ならびに急速な技術革新と規制緩和の進展への東京ガスの対応等があります。

Copyright© TOKYO GAS Co., Ltd. All Rights Reserved.